

# 第 10 分科会「里山と残土・産廃」

## 残土・産廃は里山をつぶす

日 時： 2007 年 5 月 18 日 13 時 00 分～18 時 00 分

場 所：木更津共栄残土置き場及び木更津市民ネット

参加者：20 名

### 趣 旨

里山の生物の多様性を保全、再生しながら、共存していける里山の「なりわい」とは、それらを持続していくには、どのような意識の改革や、取組みが必要か話し合い、「千葉県生物多様性戦略策定」案に 提案する。



### 内容

発表者 「事業主協栄産業についての説明」  
木更津市民ネット 金井珠江

### 現状

しかし何故自然を売り物にするのだらうと思う。  
しかも穴を掘り深く埋めてそのうえに山に盛る。  
かつての緑の里山は茶色のまる裸の衰れな状態になり住民の飲料水を悪化する。ガスが噴出することもある。



### 課題

里山を食べ物にしないで、里山を生かすことを考えなければ、千葉の風景はどんどん変わっていってしまう。  
この事業は千葉県ではなく警視庁管内の事業だったので警視庁管轄の取調べになり、事業差し止めになったが、山砂問題も浮上しているときだから千葉県警もしっかりやってほしいと思っている。

### まとめ

里山を活性化して残土・産廃をおかせない。里山は子供の楽園になる。みんなで里山になりわいの花を咲かせましょう。

